

略 歴 調 書

令和6年 10月 28日

(ふりがな) 氏 名		(いはら けんじ) 井原 健二	生年月日	
最 終 学 歴		平成7年(1995)3月27日 九州大学大学院医学系研究科内科系専攻修了		
専 門 分 野		小児科学		
学 位 称 号		医学博士号		
学 歴				
年 月		事 項		
1983年	4月	九州大学医学部医学科 入学		
1989年	3月	同上 卒業		
1991年	4月	九州大学大学院医学系研究科内科系専攻 入学		
1995年	3月	同上 修了		
職 歴				
年 月		事 項		
1989年	6月	九州大学医学部附属病院医員(小児科研修医)		
1995年	6月	福岡市立こども病院・感染症センター 第2内科医長		
1996年	6月	九州大学医学部附属病院 小児科 医員		
1997年	6月	九州大学医学部附属病院 小児科 助手		
2002年	2月	九州大学医学部附属病院 小児科 助手講師		
2002年	7月	米国ワシントン大学医学部血液学 客員助教授		
2004年	6月	九州大学病院 小児科 助手講師(復職)		
2010年	6月	九州大学病院 総合周産期母子医療センター 准教授		
2014年	7月	大分大学医学部 小児科学 教授、大分大学医学部附属病院 小児科長(併任)		
2014年	10月	大分大学医学部附属病院 遺伝子診療室長(併任)		
2020年	4月	大分大学医学部附属病院 病院長補佐(併任)(2022年3月まで)		
2020年	4月	大分大学医学部附属病院 周産母子センター長(併任)(2024年3月まで)		
2021年	10月	大分大学学長特命補佐(長期戦略、無煙環境・健康増進担当)(併任)		
2022年	4月	大分大学医学部医学科長(併任)		
2023年	10月	大分大学学長特命補佐(附属病院長期戦略、無煙環境・健康増進担当)(併任) 現在に至る		
所属学会		日本小児科学会, 日本小児保健協会, 日本人類遺伝学会, 日本内分泌学会, 日本小児内分泌学会, 日本先天代謝異常学会, 日本糖尿病学会, 日本周産期・新生児医学会, 日本小児耳鼻咽喉科学会		



学会及び社会 における活動	【国内学会】 日本小児科学会（理事，代議員，指導医，専門医） 日本小児科学会（試験運営委員会 主担当理事） 日本小児科学会（九州地区資格認定委員会 委員） 日本小児保健協会（理事，代議員） 日本小児内分泌学会（理事，評議員） 日本人類遺伝学会（評議員） 日本内分泌学会（評議員） 日本内分泌学会九州支部（幹事，評議員） 日本先天代謝異常学会（評議員） 日本小児耳鼻咽喉科学会（評議員） 【大分県】 日本小児科学会大分地方会（会長） 大分県小児保健学会（会長） 大分県新生児マススクリーニング検討委員会（委員長） 成長科学協会学術運営委員会（大分地区委員） 大分県小児医療対策協議会（委員） 大分県地域保健部救急医療対策専門者会議（委員） 大分県小児慢性特定疾病審査委員会（委員） 大分県地域保健協議会母子保健小委員会（委員） 大分県地域保健協議会学校保健小委員会（委員） 大分県周産期医療協議会（委員） 大分県感染症発生動向調査企画委員会（委員） 大分県アレルギー疾患医療連絡協議会（委員） 大分市小児慢性特定疾病審査委員会（委員） 大分市小児夜間急患センター運営協議会（副会長） 【非常勤講師】 産業医科大学医学部 非常勤講師 大分県立看護科学大学 非常勤講師
免許・資格等	医籍登録 平成1年(1989)5月23日、医師免許 第 ■■■ 号 大分県小児慢性特定疾病 指定医 大分県指定難病 指定医 日本小児科学会 小児科専門医・小児科指導医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医・臨床遺伝指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・内分泌代謝科指導医
賞 罰	なし
その他参考となる事項	子どもをタバコから守る会 in おおいた （事務局・代表世話人）

(教育に関する業績)

2022 年度から医学部医学科長および教務委員長として医学部全体の教育に関わっています。特に看護学科と先進医療課学科とも連携した多様な学習プログラム策定を通して学生や研修医が豊かな人間性と高度な医療スキルを持つ医師・看護師・医療系技術者・研究者を育成するための環境の整備に努めています。

また、医学部医学科第 1 年次の人間生命科学演習(講師)、第 3 年次生の臓器別コース[ライフサイクル医学(小児科;責任者と講師)、神経・筋(担当者と講師)、内分泌・代謝・膠原病(講師)、ライフサイクル医学(産婦人科;講師)]、第 IV 修学期臨床実地修練(小児思春期発達)(コース責任者)、看護学科第 2 年次小児・母性疾病論(講義)、大学院医学系研究科博士課程の臨床遺伝学(講義・実習)を担当しており、小児科学や臨床遺伝学の専門教育を行っています。

卒後教育としては、大分大学医学部附属病院 周産期・小児期・母性診療系研修プログラムの責任者、専門医教育としては大分大学の責任者として小児科専門医、臨床遺伝専門医、内分泌代謝科専門医(小児科)の専門的な指導を行っています。

(診療に関する業績(医療安全に関するものを含む))

医学部附属病院小児科の科長を兼務するとともに、周産母子センターのセンター長もしくは副センター長、遺伝子診療室長として大分大学の小児医療・周産期医療・遺伝医療に取り組んでいます。小児の希少難治性疾患について最先端の医療技術に基づいた診療を推進するとともに、遺伝カウンセリングを基盤とした遺伝医療を通して多くの診療科の難治性疾患の診療をサポートしています。

また現在、学長特命補佐(附属病院長期戦略、無煙環境・健康増進担当)として以下について取り組んでいます。

○長期戦略

- ・策定した第 4 期中期目標・中期計画の計画的実施に向けたアクションプランを策定し、評価指標毎に確実な実施を図る。
- ・2022 年 1 月に策定した「大分大学ビジョン 2040～次世代につなぐ、そして未来を創る～」の基本方針に沿い「教育」「研究」「医療・福祉」「地域貢献」4 分野の各事業を着実に進める。

○無煙環境

- ・大分大学すべてのキャンパスとその周囲の無煙環境づくりに努力し、大分大学教職員の喫煙率をさらに低下させる。
- ・大分大学全学生の喫煙率を限りなくゼロに近づけるよう禁煙と受動喫煙防止策を図る。
- ・大分大学近隣住民への啓発活動を行うとともに、大分県行政と協働し地域住民や各種店舗とも連携し、県内各地域の無煙環境拡大に向けた取り組みを着実に推進する。
- ・禁煙支援・禁煙指導できる人材育成を行い、県内医療施設の禁煙外来を普及させる。

- ・健康寿命日本一を達成した大分県と協働した次の取り組みとして、「子どもをタバコから守る会 in おおいた」を発足し、次世代を担う子どもに向けた新たな禁煙活動を開始する。

○健康増進

- ・大分県、大分県医師会、関係団体などで構成される「健康寿命日本一おおいた創造会議」と連携し、健康寿命の延伸を図る。
- ・附属病院として、早期社会復帰に寄与する内視鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲手術に対応できる高度技術を有する人材育成を行う。
- ・2021年度に設置された大分大学グローバル感染症研究センターを中心として、新興・再興感染症に対する予防法と治療法の開発を推進する。

(研究に関する業績)

医学部の基礎系講座と協働して希少難病の分子遺伝学的研究等の先端的研究を推進しており、AMED 研究班の遺伝性早老症の臨床研究においては国内の臨床研究を主導する立場で研究を行っています。臨床疫学研究の分野では、大分市や大分県内の自治体と協働して小児の生活習慣病、児童虐待、神経発達症に関わる疫学研究を続けています。国際的研究に発展させることで、遺伝性疾患や内分泌疾患の分野で着実に研究を進めています。アメリカでの留学経験を活かし、国際的な視野を持ちながら最新の医学情報を常に入手し、特に研究面や医学教育では国際交流を含めて精力的に活動しています。

(地域医療への貢献に関する業績)

大分県医師会や大分県小児科医会と協働し、県全体の小児医療連携の強化や周産期医療の充実に向けた取り組みを行っています。大分県内の数多くの医療機関に常勤医師を派遣し、それぞれの地域の行政の皆様、医療関係者、学校関係者の方々とともに小児医療の維持向上に努めています。また大分県の医療福祉行政とも緊密に連携し、大分県福祉保健部の医療政策課、こども未来課、こども・家庭支援課、健康政策・感染症対策課等の各種会議や委員会活動を通して大分県内の小児医療と小児保健、災害や感染対策などの活動の中心的な責任を担っています。

(病院経営・管理運営に関する業績)

大分大学医学部附属病院の感染予防対策委員会、リスクマネジメント委員会、臨床倫理委員会、児童虐待対応委員会の委員や、脳死判定委員会の委員長として患者の安全と安心を第一に掲げた医療体制に取り組んでいます。また学長特命補佐(長期戦略、無煙環境・健康増進担当)として病院企画経営委員会に出席し、医学部附属病院の運営に関わっています。さらに、がんゲノム医療運営委員会、周産母子センター運営会議、遺伝子診療室運営会議、未承認新規医薬品等管理部門会議、個人情報保護委員会、生殖医療センター運営会議、クリニカルパス推進委員会、広報委員会、地域医療対策委員会、専門研修プログラム連絡協議会、医師研修管理委員会等の委員として、地域を連携した活動や卒後臨

床研修に取り組んでいます。

2020 年 4 月から 2 年間は医学部附属病院長補佐(遺伝子診療・国際化担当)として大分大学医学部病院ホームページ英語版作成を担当しました。

(その他(国際交流等)の業績)

アメリカでの留学経験を活かし、国際的な視野から最新の医学情報を常に取り入れて研究面や医学教育に関して精力的に活動しています。2024 年 4 月インドネシア医学部協会の医学部への訪問時の対応や、2024 年 6 月タイ国からの大学医学訪問団の来学時には本学医学部の医学教育カリキュラムについて事業説明や交流を行いました。2024 年 11 月には大分大学医学部と学生交流協定を結んでいるプリンスオブソンクラ大学(タイ)から短期留学生(大学院生)1 名を小児科に 2 週間受け入れる予定です。

また、2022 年 4 月に設立した「子どもをタバコから守る会 in おおいた」では事務局を大分大学医学部小児科に設置し、現在は代表世話人を務めており、大分県内の禁煙対策の一端を担っています。